
岐阜県立中津高等学校

学 校 長 今井 一三
学 校 住 所 岐阜県中津川市中津川1088-2 電話 0573-66-1361

- 1 会議の名称 岐阜県立中津高等学校学校評議員会 (第2回)
- 2 会議の構成
- | | | |
|-----|-------|------------|
| 委 員 | 小椋 武志 | 前全日制PTA会長 |
| | 佐藤 和男 | 前定時制同窓会長 |
| | 須栗 大 | 中京学院大学(教授) |
| | 船戸 朝子 | 元公立幼稚園園長 |
| | 吉村あづさ | 地域代表 |
- (委員名は五十音順)
- | | | |
|-------|-------|-------------|
| 学 校 側 | 今井 一三 | 校長 |
| | 栗谷本典彦 | 事務部長 |
| | 岩木 隆義 | 副校長 |
| | 吉田 浩之 | 教頭(司会) |
| | 可知 嘉文 | 全日制教務主任(記録) |
| | 山田 政春 | 定時制教務主任 |
| | 小栗 和成 | 全日制生徒指導主事 |
| | 西尾 靖彦 | 定時制生徒指導主事 |
| | 小栗 毅石 | 全日制進路指導主事 |
- 3 会議の目的 学校運営等について、地域の有識者から幅広く意見を聞き、地域社会からの要望と協力を得て、開かれた特色ある学校づくりを推進する。
- 4 会議の開催 平成31年2月5日(火) 14:00~16:00 中津高等学校小会議室
委員5人と学校側9人が出席
- 5 会議の概要
- (1) 生徒及び保護者アンケートの結果について
 - (2) 平成30年度自己評価・学校関係者評価について
 - (3) その他(来年度について)
 - (4) 2年生弁論大会参観
- 意見1 アンケートの項目で、「本校の職員室は、入りやすく、気軽に質問や相談ができる雰囲気がある。」は他のものに比べると評価が良くないが、どのように捉えているか。
- 回答1 (全日制) 生徒それぞれの個性や捉え方があるので表現し難いが、本校は割に入りやすい雰囲気があると考えている。生徒によって捉え方が違うので、来週の反省職員会議で課題として検討していきたい。
(定時制) D評価が4%であるが、生徒の人数としては1人である。このアンケート結果は職員会議で周知しており、結果をもとに生徒に接している。
- 意見2 CCC活動は何人程度参加しているのか?よい活動なので活発にやってほしい。
- 回答2 1月現在で延べ287名である。地域貢献を目指してスタートしてから3年目である。より多くの生徒が参加できるよう教員からの仕掛けなどの工夫を考えていきたい。
- 意見3 10年後・20年後を見据えての指導ということでありがたい。域学連携はぜひ進めてほしいことである。この地域には今後さらに伸びる中小企業が多くあり、県外の大学に行っても戻ってきて就職できれば、それはそれで魅力に繋がるはずである。現代は、特別支援教育のスキルが求められる。先生方も大変ではあるが、頑張ってください。
- 回答3 特に理系においては、研究職が少ないので、地元に戻ってくる率が悪い。中津川市役所にその関係の企業誘致などを積極的に働きかけて、受け皿作りを行ってもらっている。その

- 方面の人材育成を充実させることで応えていきたいと考えている。
- 意見 4 弁論大会の枠にとらわれずやっているように感じた。もっと自由にしてもよいのかな、と個人的には思う。そういう姿も見てみたい。新テストに向けたプレテストの評価を聞きたい。e-ポートフォリオについては大学の姿勢も問われているのかと考える。地域貢献活動はどのような学力と結びついていくのか？外国人就労者が増えると多文化共生の中でリーダーシップをとれるか、ということもこれからは大切なテーマになるかもしれない。
- 回答 4 多様性を常に意識した教育を行っており、スタイルも自由な形で行わせている。これは、本校の校訓を具現するために行ってきたものであるが、今後進学等において重要になってくるe-ポートフォリオ対策の意味もある。このため本校生徒は、多様な文化を受け入れる姿勢はできている。今後は積極的に外に出て体験を積みませながら、実践的にリーダーシップを身につけさせていこうと考えている。
- 意見 5 掲げたものが先走りしないように気を付けていただきたい。悩んでいる親御さんの相談先はあるのか？教育相談を充実させて、命の大切さを伝えてほしい。
定時制については、頑張っている様子が伝わってきたのに、生徒数少ないのは残念。アンケートで評価の良い保護者の気持ちを生徒たちに伝えられる方法はないか、と思った。
- 回答 5 常に振り返りを行って対応しており、地に足をつけたゆったりした教育を進めるよう気をつけている。教育相談に関しては、3人体制の専門部署が設置しており、さらに各学年担当も配置してスピーディな対応を心がけている。本日の意見を参考にして、早速、対応を試みます。情報提供ありがとうございました。
定時制としては、人数は少ないが、その分より丁寧な対応を行っていきたいと考えている。また、保護者への通信等で、校内情報の提供を積極的に行っていくことで対応したい。
- 意見 6 今の生徒は真面目。もう少しはじめてもいいのと思うこともある。生徒には、3年間で打たれ強さも身につけてほしい。先生方には分かりやすいしかり方を工夫していただければ。全日制については、数年度を見越してやっておられということでありありがたい。定時制については、生きにくい世の中なので、今のように保護者が安心して送り出せる学校を大切にしてほしい。
- 回答 6 やはり時代の趨勢か、行動範囲が狭く大人しい生徒が増加している。その反面耐性は低下していると考えている。学校教育全てを通して、学力を身につけさせることを中心に、これらの力を体験学習等によって育成し、総合的な生きる力を身につけた生徒を育てていきたい。
今学校体制を大切に、保護者様が安心して送り出させる学校を目指したい。

6 会議のまとめ

様々な御意見や励ましをいただいた。中津高校は、全日制は入りたい学校、定時制は受け皿的な要素がある。3月1日の卒業式では、この学校に入学してよかったと思えるように、本日の会議内容を、今後の指導に活かして、より高評価を得られる学校にしていきたいと考える。